資料番号	総務２

令和８年 11 月 19 日
課　名　総務局デジタル基盤整備課
担当者　課長　西川
内　線　2440

最近のサイバー攻撃等を踏まえた県の対応状況について

１　要旨・目的

最近のサイバー攻撃や脆弱性に関する情報を踏まえた県の対応状況を報告する。

２　現状・背景

委託先等への不正アクセス事案が発生しているほか、ウェブサイト等で広く利用されている PHP※について、緊急の対応を要する脆弱性が公表（10 月 21 日）された。こうした状況を踏まえ、関係部局と連携しながら脆弱性への対応や情報システム及びウェブサイトの緊急セキュリティ点検等に取り組んでいる。

※PHP：ウェブサイトの各種機能を動かすために広く利用されているプログラミング言語

３　概要（対応状況）

（１）不正アクセス等の状況

これまでに公表されているとおり、委託先や外部サービスへの不正アクセスにより、個人情報が流出したおそれのある事案が発生している。なお、県庁内の情報システムへの不正アクセス等による被害は確認されていない。

（２）PHP の脆弱性への対応

県公式ホームページについては、修正プログラムを適用し、必要な対策を完了した。県公式ホームページ以外のウェブサイトについても、今回の脆弱性の影響の有無を確認し、一部のサイトは安全対策のため公開を停止するなど、必要な対策を進めている。

現時点で、今回の PHP の脆弱性に関連する不正アクセス等による被害は確認されていない。

（３）情報システム及びウェブサイトの緊急セキュリティ点検

緊急セキュリティ点検では、脆弱性への対応状況、保有する個人情報等の管理状況、委託先等におけるセキュリティ対策、インシデント発生時の報告体制等を改めて確認しており、確認結果を踏まえ、必要な対応を進める。

（４）職員への周知・注意喚起

フィッシングメール等への注意喚起、パスワードの適正管理、不審な事案や異常の兆候を認知した場合の速やかな報告・初動対応の徹底等について、改めて職員に周知した。

４　今後の取組

引き続き、関係機関と連携し、サイバー攻撃や脆弱性に関する情報を迅速に把握するとともに、緊急セキュリティ点検の結果も踏まえ、委託先等を含めたセキュリティ対策を強化し、情報システム等の安全性の確保を図る。